



発行所 公益社団法人 高知県診療放射線技師会
発行人 会長 巴 昭彦
事務局 〒780-0850
高知市丸ノ内1丁目7番45号
総合あんしんセンター2階
TEL・FAX 088-872-4585

年 頭 所 感

新春あけましておめでとうございます

公益社団法人高知県診療放射線技師会 会長 巴 昭彦

「92 から 95、そして 102 へ!？」

年頭所感には相応しくないかもしれませんが、昨年の中四国会長会議の席で我々の履修単位の今後について説明があり、重要と思ったので書かせて頂きます。

表題の謎の数字は診療放射線技師の履修単位数を表しており、業務拡大に伴う統一講習会は 2020 年の 3 月まで日本診療放射線技師会の主催により開催される。本講習会は養成課程の単位差を埋め、安全を担保するため、厚生労働省が日本診療放射線技師会に開催を要請した。受講者は現在の診療放射線技師養成課程と同じ科目を履修し、専門科目+3 単位により 95 単位が認定された。静脈注射の抜針等の実習を含むこの専門科目の 3 単位は他の講習会では代替取得できない講習会なのである。

92 単位は過去の我々の履修単位、95 単位が現在の診療放射線技師の履修単位である。ところが現在、2021 年度入学の診療放射線技師養成課程の単位数を 102 単位にする検討が厚生労働省の諮問機関により行われている。102 単位が認められると講習会未受講の 92 単位と、講習会を修了した 95 単位、そして 2024 年に卒業する 102 単位を修めた診療放射線技師が共存することになる。95 単位から+7 単位増えるのである。

この 7 単位には医療安全学 1 単位、読影診断(技術)学 4 単位、参加型臨床実習 2 単位が含まれ、95 単位の診療放射線技師と比べて更に 7 単位の差が生じる。厚生労働省は同じ国家資格の養成課程の差を埋めるため、公認団体である日放技に再度講習会の開催を要請するであろう。しかしその対象は 95 単位の診療放射線技師に限られるのである。

業務拡大に伴う講習会を未受講の会員諸君はこのまま 92 単位で良いのか!? 決して危機感を煽るわけではないが、2 月 3 日の高知県学術大会で熊代副会長の講演を聞いた上で自分の判断で動いて頂きたい。会務を預かる者としては今年度末までに業務拡大に伴う統一講習会を受講し、是非 95 単位にベースアップを図って頂きたいと切に願います。

謹 賀 新 年

本年も役員一同よろしく願い申し上げます。

新年のご挨拶

副会長 高橋 宏幸

明けましておめでとうございます。

旧年中も皆様には、高知県診療放射線技師会を盛り立ててくださりましてありがとうございます。

新年を迎え、本年のメインイベントとして控えている催しが、「中国四国放射線医療技術フォーラム」(CSFRT)です。9年ぶりの高知県開催ということで、伊東大会長、巴大会長のもと、毎月実行委員会が開かれています。

本年に入ると、より具体化に向けて話は進みます。高知県下の診療放射線に係る皆様にはご協力をお願いすることになります。皆様の協力なしには、このフォーラムの成功はありません。高知県下診療放射線技師の結束によって成功させましょう。

次に、診療放射線技師として根底にある志は、中四国放射線医療技術フォーラムとは同じであると思っている「業務拡大に伴う統一講習会」の受講促進が急務となります。

地方での開催も終了予定だと言われていますので、受講料は変わらずとも交通費や宿泊費が伴い出費がかさむ事は明らかです。本年はじめには四万十病院で開催し、本年中には東部地区での開催も計画していますので、CT、MRI 造影剤自動注入器の操作等の安全性を担保する 診療放射線技師の国家資格を有するものとして、次に控えている教育カリキュラムアップのためにも、ぜひとも受講をお願いしたいと思います。

最後に、皆様の健康を祈念して、新年の挨拶といたします。

新春のご挨拶

副会長 伊東 賢二

あけましておめでとうございます。

旧年中は会の運営にご協力いただきありがとうございます。

新年にあたり、皆さま今年はどうのような目標を掲げておられるでしょうか。また、昨年の目標は達成できたでしょうか？私事ですが、昨年のご挨拶に書きましたように新たな事を始めてみました。立場上必要とされることでもありますが、コメディカルも経営を考えたコスト意識を持つようにする必要があり、「四国病院経営プログラム」に応募しました。何とか合格できましたので、4月よりさまざまな職種の方々14名と共に経営について学んでおります。放射線部の機器は、資産（装置金額）からみると病院全体の60%以上を占めます。すなわち、経営上大きな存在でもあります。コメディカルも病院経営に積極的に関わることが必要だと思っております。このプログラムは「課題解決型高度医療人材養成プログラム」として文部科学省が全国10大学を選び行っている事業です。次年度も公募（15名）がありますので、興味がある方は是非応募されてはいかがでしょうか。話は変わりますが、2019年度は高知で「画像維新-進革新・求める核心」をテーマにCSFRTを開催いたします。既に、シンポジウム、市民公開講座、各種セミナーおよびランチオン等、一般演題以外の企画は立てており講師も確定し、開催に向け準備を進めておりますが、CSFRT2019を成功させるためには会員の皆さまの協力が必要です。ご協力のほど何卒よろしく願いいたします。

常務理事からのご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

本年もいろいろなイベントを開催したいと考えています。なんといっても「業務拡大に伴う統一講習会」が 2019 年度をもって終了します。2019 年度は 2 回開催を予定していますが、希望者が多ければ 3 回開催もできると思います。一人でも多くの技師が講習を受けてくれますことを願っております。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

学術教育担当 中村 伸治

新年あけましておめでとうございます。

本年も会員の皆様の業務に役立ち、興味のわく講習会を企画開催したいと思ひます。

本年は「業務拡大に伴う講習会」の開催最終年度となります。未受講の方は期限内に多数受講されます様お願ひします。9 月開催の「CSFRT2019」は役員と全会員の力で成功させましょう。

今年も宜しくお願ひ致します。

学術担当 藤田 純二

新年明けましておめでとうございます！！今年も学術関係で私の分野の Ai（死亡時画像診断）・エコー・X 線単純撮影・救急・一次救命処置・災害支援など、診療放射線技師の皆様の興味をそそる講習会や勉強会を開催したいと思ひます。

いつ来るかわからない南海トラフ地震に診療放射線技師としてなにができるのか。

あらためて考える年にしたい。

皆様、今年も宜しくお願ひ致します。

学術担当 大川 剛史

新年あけましておめでとうございます。

平成から新たな元号へ、また私の勤める職場も新病院へ移転するといった、大きな変革の年を迎えました。

CSFRT2019 など様々な活動もひかえています。肩肘張らずリラックスした気持ちで日々を過ごすことで、最大限の力が発揮できるものと信じ、これからも微力ながらお手伝いさせていただきます。

皆様、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。企画組織担当 三好 裕司

新年明けましておめでとうございます。

いよいよ本年 CSFRT2019 高知が開催となります。観光の魅力に対する交通の便の悪さが、ひとつの因子として挙げられるのではないかとお願ひしております。事務局としましては、“成功への参加者数の確保”と“抄録の処理”でジレンマに陥らない様、頑張ってまいります。何より大成功の大会にするため、一緒に盛り上げて行きましょう。

企画組織担当 佐々木俊一

新年明けましておめでとうございます。

CS9 の実行委員となり早 6 年目、今年は高知での活動となります。今年、CSFRT2019 という大きなイベントがあります。その熱気も徐々に高まりつつあるように感じます。同じく技師会企画のイベントや講習会も盛り上げられるように微力を尽くしたいと思ひます。

本年もよろしくお願ひいたします。

企画組織担当 山中こず恵

新年あけましておめでとうございます。

今年例年の行事に加え、CSFRT2019 が高知県で開催されます。前回開催から 9 年。会員のみなさまの協力があってこそ成功できるのだと思ひます。役員一同頑張っていきますので一緒に盛り上げていきましょう！

本年もよろしくお願ひいたします。

総務担当 足達 麻衣

新年明けましておめでとうございます。

年々、新しい年を迎えることが早くなっている気がする今日この頃です。

本年は CSFRT2019 を高知県で開催します。役員一同はもちろんですが、高知県会員が他県の方々を迎えて「高知家」をアピールする機会でもあります。

一丸となって大会を成功させましょう！

本年もよろしくお願ひいたします。

広報担当 大野 貴史

会の動き

平成 30 年度 第9回常務理事会

12 月 4 日 (火)、総合あんしんセンターにて第 9 回常務理事会を開催した。

お知らせ

Aiオートプシーイメージング(死亡時画像診断) 基礎講習会

『～サブスペシャリティ(学問領域)としてAiについて～』
四万十町国保大正診療所 大川剛史

日 時 : 平成31年1月12日 (土) 15時00分～17時00分(受付14時30分より)

会 場 : 近森病院 管理棟3階 No.3会議室

参加費 : 会員無料 (ただし、非会員500円徴収します。)

参加資格 : なし (会員・非会員、職種、年齢等 問いません)

会員・非会員を問わず受講できます。多くの方々の申し込みをお待ちしております。

平成 30 年度ソフトボール大会

東部地区理事 楠永

日時 2019 年 1月27日 (日) 9 時から12 時

場所 農学部グラウンド (決定!) (高知龍馬空港近く)

家族 職場 業者 などどなたが、参加されてもかまいません、お誘い&声かけお願いいたします。 みなさん 楽しみましょう。

東部地区企画講習会

東部地区理事 楠永 倫也

日 時 : 平成 31年 2月 9日 (土) 14 : 00～16 : 00

開催場所 : JA 高知病院 5階 会議室(エレベータ降り、突き当り右の部屋)

講習会名 : 「被ばく管理について考える」

講演者 : ①情報提供 千代田テクノル

②当院の被ばく線量管理について (仮)

高知大学医学部附属病院 明間 陵

被曝の管理は診療放射線技師の仕事です。「我々がどのような管理をすべきか」、「そもそも被ばくとは」というようなことを初心にかえって、一緒に考えてみましょう。

平成30年度高知県放射線技師学術大会を開催します。

日時；平成31年2月3日(日)

会場；高知医療センター くろしおホール

プログラム(案)

9:00～ 9:20 受付(一般・座長・演者)

9:25～ 9:30 開会の挨拶 会長 巴 昭彦

9:30～10:30 一般演題(第1部) 座長

1. HISと連携したタブレット端末を利用した問診システム
高知大学医学部附属病院 放射線部 武内 侑磨

2. RISと連携した皮膚表面線量の推定
高知大学医学部附属病院 放射線部 小笠原大介(未入会)

3. FPDとCRの線質特性について
高知大学医学部附属病院 放射線部 近藤 裕太(未入会)

4. FPD、CRシステム感度の管理について
高知大学医学部附属病院 放射線部 榮枝 達也

5. 当院のポータブル撮影における入射表面線量測定
高知医療センター 放射線技術部 生原 大嗣(未入会)

6. 頸椎PA撮影って?!
四万十町国保大正診療所 大川 剛史

10:30～11:50 特別講演 80分 司会 巴 昭彦

演題名 『今後の診療放射線技師の履修単位と将来の展望』

演者 公益社団法人 日本診療放射線技師会 副会長
熊代 正行 先生

11:50～12:00 休憩

12:00～12:30 メーカーセッション 30分 司会 伊東 賢二

『被ばく線量管理ソフトの紹介』

バイエル薬品株式会社

12:30～13:50 一般演題(第2部) 座長

7. Cアーム型X線TV装置の空間線量分布について
高知大学医学部附属病院 放射線部 大黒 和輝

8. バーチャルグリッドの特性について
高知大学医学部附属病院 放射線部 切詰 力斗(未入会)

9. 撮影開始時間固定 肺動静脈分離1相撮影の検討
高知医療センター 放射線技術部 岡村 夏子(未入会)

10. 放射線治療における多次元検出器の精度検証について
高知大学医学部附属病院 放射線部 森田 一郎(未入会)

11. 放射線治療における超音波モニタリングシステムの運用状況
高知医療センター 放射線技術部 高砂 美穂(未入会)

12. 外部照射における骨盤セットアップでのpitch角の検討
高知大学医学部附属病院 放射線部 北野 雅子

13. ¹²³I-MIBG心筋シンチグラフィにおいて体格が心臓縦隔比に及ぼす影響
高知大学医学部附属病院 放射線部 林 直弥

14. 整形エコーのススメ
四万十町国保大正診療所 大川 剛史

13:55～14:00 閉会の挨拶 副会長 高橋 宏幸

平成 30 年度技師長会のお知らせ**副会長 高橋宏幸**

毎年3月の第2週土曜日は、技師長会の日。

本年度は、中央西地区、中央東地区との合同開催です。情報交換会場も決まりましたのでお知らせします。

高知県の医療事情がテーマでから、他の地区の会員、非会員にもお越しいただき、これからの診療放射線技師のあり方を考えていきたいと思っています。

テーマ：「高知県の地域医療情勢と今後の医療機関のあり方」

講師：社会医療法人近森会 近森病院 管理部長 寺田文彦 先生

日時 2019 年 3月9日(土) 16 時から

場所：近森オルソリハビリテーション病院7階会議室

情報交換会(地区親睦会)

日時：平成 31 年 3 月 9 日(土)18 時 30 分～

場所：旬菜厨房 三膳酒場 本店

会費：5000円前後(2時間飲み放題付きのコース)

・講演に関する問い合わせ

近森リハビリテーション病院 高橋宏幸 TEL：088-822-5231(内線7252)

・情報交換会(地区親睦会)に関する問い合わせ

もみの木病院 萩野孝弥 TEL：07064385217

※詳細は、2月号にて再度案内いたします。

!!ルー エッセー!!

その 175 (山本 一孝：森下病院)

西土佐診療所の永井さんからバトンを受け取った、森下病院の山本です。永井さんとは知り合っただけで 37 年くらいたちます。学生のときから何も変わってなくて、自分たちとしては当時のままの付き合いです。偏食ばかりしていたあの永井さんですが、今ではおかずを買ってご飯をたいているそうです。これには驚きです。

最近私は、高知新聞の小社会を書き写すことを始めた。理由は文章の構成を知ることと字を書くことが大事だと考えたからだ。本来ボールペンで阿弥陀経を書いては字の練習をしていたのだけれど、その中ではじめに思ったことは、千数百年前(いやもっと前からだろう)からある漢字が、今もまったく同じで変わっていないことへの驚きだった。誰もがよく知っている三蔵法師さまが、インドから持ち帰った経典のサンスクリット語を漢字に訳したものです。話を元にもどすと、まったく書かなかった字を書いていると意外に新鮮で、衰えはじめてた脳が活性化されるようで心地よい。さて近ごろ新聞に載らない日がないくらいある殺人事件、もしやわが子ではあるまいかと思うことがあります。大阪の派遣会社に就職して 9 カ月経ちましたが、給料が少ないので切り詰めた生活を送っているかと思う時、一緒に暮らしていたころ、娘に対して意地悪な言葉をはなつたことが、今では悔やまれてなりません。

とにかく小社会のコナーは、私にとってとても勉強になると同時に、論説委員の方々

の読書量の多さと知識の引き出しの多さには驚くばかりです。一つの出来事からの発想をもとに文章を書き進める、言葉を紡ぐ、“プロ” だな一とてまかなわない。

万卷の書を読むより、ひとりでも多く優れた人物に会う方がはるかに人生の勉強になる（小泉信三）慶応義塾大学第 7 代塾長と言われるように、さまざまな人生を歩んでこられた人との交流は大事だと思います。

引っ込み思案な僕と違って、本当にたくさんの人と出会い交流をしている社交的な聖ヶ丘病院の宮地聡さん、今勤務先が午前と午後が違うという大変な毎日を送っているそうです。それでは宮地さんにバトンタッチ。

総務報告（2018年11月30日現在）

1. 高知県の会員数	<u>210</u> 名
2. H30年度会費納入者	<u>156</u> 名
賛助会員	<u>8</u> 社
3. H29年度会費納入者	<u>9</u> 名
4. H30年度新入会員数	<u>6</u> 名
(今月の新入会)	<u>1</u> 名
林 直弥 高知大学附属病院 <東部地区>	
5. H30年度再入会員数	<u>0</u> 名
(今月の再入会)	<u>0</u> 名
6. H30年度退会者数	<u>5</u> 名
(今月の退会者)	<u>0</u> 名
7. H30年度転出者数	<u>1</u> 名
8. H30年度転入者数	<u>1</u> 名
(今月の転入会者)	<u>0</u> 名
9. 今月の会員異動	
なし	

(文責編集広報)